

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立宇和島東高等学校津島分校

40

評価実施日	令和3年6月30日(水)、令和4年2月16日(水)		
委員	氏名	所属等	備考
	藤堂 勝男	津島町商工会事務局長	
	田村 裕子	宇和島市教育委員会	
	中村 公昭	宇和島警察署津島駐在所長	
	山本 美保	英会話塾主宰	
	島内 千紘	岩松公民館	
	田中 繁幸	宇和島市社会教育副委員長	
	藤原 和憲	宇和島市立津島中学校教頭	
	石崎大二郎	P T A会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 生徒による授業評価では高い評価となっており、生徒・保護者・学校が一体となり習熟度別少人数学習で一人一人のきめ細かな学習指導ができていていると思われる。生徒の自主的な学習意欲をどう持たせるかが課題である。また、ICT機器の取扱い等について職員の資質向上を期待する。</p> <p>(2) 生徒指導 地域への貢献では積極的な取組がなされており、充実した活動になっている。生徒も素直に育っており、津島分校に対する愛校心を感じる。SNSによるトラブルは見えないところで起きていていると思われるので見過ごさないよう大きくならないようしっかり指導してもらいたい。不登校傾向生徒の改善もお願いしたい。</p> <p>(3) 進路指導 先生方が親身になって個に応じて適切に対応されており、それぞれの希望がかなっているようである。入学時に小さくても目標を持たせて、それを実現するために何をすべきか考えさせ、一步一步前向きに努力をさせていきたい。</p> <p>(4) 地域との連携 コロナ禍の中ではあるが、地域との連携活動が50回以上実施されていたり、様々な工夫で津島分校の魅力を発信・啓発されていたりして、大変素晴らしい。小学校や中学校との交流については今後も引き続き実施していただきたい。</p> <p>(5) その他 本校・分校の連携も少しずつ充実してきており、体験入学参加者も増加している。また、少ない生徒数で部活動等の活躍も大きく、生徒や教員の努力が感じられる。生徒数確保につながって行くのではないかと感じられる。</p> <p>2 学校経営への提言 津島分校は地域の大切な高等学校である。高校生が地域と交流することは、住民の生きがいや活性化に直結している。今後も学社でつながって支えていけるとよい。また、コロナ禍により行事中止に追い込まれることのないよう最善の対策を講じてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、少人数の良さを生かし、多様な進路希望や学力に対応できるよう、習熟度別授業やチームティーチング、ICTの活用により、分かる授業及び参加型授業の実践に努めるとともに、自主学習が習慣化できるよう指導を工夫していきたい。同時に職員の資質向上につながる研修を実践したい。 全教職員が共通理解を図り、挨拶や身だしなみ、正しい言葉遣い等、社会人として必要な資質、自主性を備えた人材の育成に努めるとともに、支援の必要な生徒への支援、スマートホン等のマナー向上についても継続していきたい。また、本校・分校の部活動連携により、学校・生徒の活性化につなげたい。 今後も個別指導の充実を図るとともに、関係機関と連携し進路説明会、企業説明会等を開催したり、就職先の情報収集、企業との連携などを系統的に進めたりすることで支援体制を充実させ、個々の目標設定につなげたい。 引き続き、地域の活性化や地域貢献に向けて、関係機関、中学校、小学校、幼稚園等と協力し地元のイベントや企画へ積極的に参加するとともに、分校の魅力を発信していきたい。同時に、1人でも多くの生徒への活躍の場とすることで、生徒の育成に努めたい。 今後も小規模校の利点を生かしたり、本校・分校で連携したりすることで、個々の能力を引き出し活動意欲に満ちた生徒を育成していきたい。また、体験入学や学校説明会での工夫や様々な情報発信により、生徒確保につながるよう努めていきたい。 地域に支えられている学校であることを念頭に置き、引き続き多くの場面で地域と関わる機会を設定し、魅力ある開かれた学校づくりを推進する。また、生徒が主体的に活躍し、自己肯定感を高め、積極的な学校生活を送れるよう努めたい。